

北毛保健生協組合員現勢

2018年10月末現在
 組合員 17,646人
 出資金 6億9,450万円
 1人平均出資金 39,358円

組合員自身の力で組織を大きく強くしましょう!



発行所
北毛保健生活協同組合
 〒377-0005 渋川市有馬237-1
 TEL 0279-24-2141 FAX 0279-24-8873
 発行責任者 中澤 眞 理
 編集責任者 くらしと医療編集委員会
 印刷所 上武印刷株式会社



表彰式での全体写真。一列目左から3番目が中澤理事長

全国にある協同組合とその組合員とともに歩ませてもらっている事が、すごく嬉しく、すごく心強く、すごく協同組合運動の自信につながっていると感じています。

生協が目指す2020年ビジョンの中で私たちは、

「多くの人が幸せになるのは、政治でもなく、宗教でもなく、協同組合の運動である」と心から信じています。

その後、日本生活協同組合連合会主催の祝賀会が行われました。祝賀会では、当生協の中澤眞理理事長が受賞生協を代表してスピーチを行いました。

その中で中澤理事長は「多くの人が幸せになるのは、政治でもなく、宗教でもなく、協同組合の運動である」と心から信じています。

受賞は全国30生協・連合、馬県からは、生協表彰に北会、40名の役員となり、群馬保健生活協同組合、役員

今年で消費生活協同組合施行70周年にあたることから、これを記念して、同法の理念にのっとり健全な事業運営を行い、他の模範と認められる消費生活協同組合並びに組合役員に対して10月30日に厚生労働大臣表彰が行われました。その中で北毛保健生活協同組合が『消費生活協同組合70周年記念 厚生労働大臣賞』を受賞しました。



人と人をつなげ、笑顔で溢れる信頼が広がった新しい社会の実現を目指しています。

この実現のために、今まで積み上げてきた医療・介護・福祉のノウハウを最大限に活用し、地域の行政と手を携え誰もが住みやすく、誰もが生きやすい社会づくりに積極的に取り組んでいきたい。」と述べられました。

今回の厚生労働大臣賞の



▼祝賀会の記念写真



▲表彰式に参加した中澤理事長(左)と小澤専務理事(右)



▶賞状は生協本部に飾ってあります



祝賀会での中澤理事長のスピーチの様子

受賞は、これまでの多くの先輩方、地域組合員・職場組合員の皆様方が様々な場面で、地域の「いのち」と「健康」を守る取り組みを継続し、その実践が評価されたものと確信しています。

この受賞は北毛保健生協に携わってきたすべての人の上に成り立っているものと考え、喜びを分かち合うとともに、これからもわたしたちは自信と誇りを持って

で、果たすべき役割を自覚し、理念に掲げている「一人は万人のために万人は一人のために」を実現できるように努力していきます。

今回の受賞は、北毛保健生協に「出資・利用・運営」して頂いている組合員の皆様と、そこで働く役員のご尽力の賜物と存じております。

この場をお借りして感謝と御礼を申し上げます。



今年も11月に生協自治体懇談会を渋川市、吉岡町、榛東村の協力のもと開催しました。懇談会では、住民のくらしと健康をより良くする」という共通のテーマに沿って懇談を行い、社会保障政策やくらしに直結する問題や課題まで懇談内容は多岐に渡り、どの自治体へも生協の要望をしっかりと伝えることができた懇談となりました。

懇談では、生協がおこなっている無料低額診療事業や居場所づくりの事業について、自治体からも継続的な懇談や協議を続けたいと要望が出されるなど、地域に根差した生協の取り組みが行政と協力しながら前進していく機運を感じました。

もう一方で改悪が進められる社会保障政策。「抜本的な社会保障政策を進める」と国は言うが、やはり国民の将来に対する政府の責任は大きい。

昨今、自助、互助、共助(自治体懇談でもそうだったが)としきりに訴えられるが、そもそも公助にしっかりとした柱を据えるべき。と考えるのは私だけでしょうか・・・

(社保委員)

医療講座

『白』と『緑』で全然違う。失明する病気、緑内障

埼玉医科大学 眼科医 石井 宏和

「白内障は手術すれば治るのでしょ？」

「緑内障も悪くなったら手術して治せば良いんでしょ？」

私が町のクリニックでの診療時に、実際に患者様から言われた言葉です。その言葉を聞いて、自分の説明不足さと患者様との認識の差に気付かされました。

まず覚えていただきたい事は、「緑内障は失明し得る病気である」という事で

す。そしてもう一つ「治らない病気」である事です。現在の日本では、40歳以上の20人に1人が緑内障と

言われています。北毛病院の待合室の中にも、実は緑内障という方が2〜3人いるという計算になります。

また、白内障と違って、緑内障は若い人にも発症し得る病気です。実は身近な病気というのが感じられたでしょうか。

日本では、重篤な視覚障

害を引き起こしている原因疾患の第1位が緑内障です。

しかし、皆さんも緑内障がそれほど怖い病気という認識はないと思います。実際に、しっかりと治療をすれば重篤な状態になる事は稀ですが、ではなぜ、それほど重症になる事があるのでしょうか？

それは、緑内障の症状を自覚により発見する事が困難だからです。

緑内障は、目の神経がじわりじわりとダメージを受ける事で視野が欠けてくる病気です。視野の端の端から欠けてくる事が多いため、初期に自分で気が付く事は難しく、気付いた時にはかなり進行しているケースが多いのです。先にふれたように緑内障は治療をしても治ることはありません。

ただ治療に意味がない訳では全く無いのです。緑内障の目標は、『今よりも悪くならないようにする』というものです。放っておくと失明する可能性がある。しかし、治療をすれば視機能をそこまで落とすことなく過ごすことが出来る、そういう両極端な病気であるからこそ、早く発見してより早く治療を開始することがとても大切なのです。

『サイレントキラー』と言われる緑内障、見つけるには眼科での診察を受けていただくしかないのが現状です。大げさに言えば、眼を守ることは今の生活を守る事でもあります。

ぜひ一度、眼科で眼の検査を受けてみませんか。気になる方は眼科スタッフへお気軽にお声かけ下さい。

我が支部の史跡・名所

⑦吉岡支部

矢落観音春祭り

毎年1月14日。吉岡町漆原に観音様の縁日が開かれます。この縁日は江戸時代の春祭りでもあります。

伝説によれば、矢に結ばれた観音様が飛んできて、桑つみをしていた娘のざるの中に落ちました。その観音様を地域の人々が大切に祀りしたところ養蚕がともうまくいったそうです。

す。矢からざるに落ちた観音様なので矢落観音、ざる観音と呼ばれるようになりました。

養蚕が盛んだったころの地域の守り本尊でした。今もざるやかごなどの竹製品などが立ち、露店や植木屋などもでて、終日にぎわいます。

境内には初代群馬県令(現在の群馬県知事)楢取素彦氏のでん書体で書かれ

た額文字の石碑や近年新築された鐘楼堂があり、朝夕と世界平和を祈る鐘声が聞こえてきます。

この鐘楼堂から見る「裾野は長し赤城山」の展望は素晴らしいです。晴れた日にはぜひお堂に上って見て下さい。

(通信員 中澤ヒデ子)



露店もたくさんで大にぎわい



伝説にちなんだざるやかご、多くの竹製品も売られています



近年新築された鐘楼堂

北毛保健生協外来医師診療表(2018年11月～)

(-は休診)

北毛病院 (24)1234

北毛診療所 (24)2818

Table with columns for medical departments (内科, 小児科, 外科, etc.) and days of the week, listing doctors and their availability.

受付時間 午前(AM8:30~12:00)、午後(PM1:00~5:00)、夜間(診療科・専門外来により異なります。)
(注) 内科 午前診療は予約優先となります。急病での来院時には看護師にお声掛けください。
小児科 金曜日午後PM3:00診療開始となります。
精神科 水曜・金曜日の福江医師は、医師指示による予約診療のみとなります。

掲載訂正

11月号3面の我が支部の史跡・名所紹介の記事で誤りがありました。石原手川の町田仁一郎さんを町田仁一朗さんと掲載してしまいました。
11月号2面の北毛保健生協デー記念行事の記事で誤りがありました。時間が午後1時30分から16時までのところを午前9時30分から11時30分と掲載してしまいました。
訂正してお詫び申し上げます。

(機関紙編集委員会)

みんなの 本場

職員募集

医師	常勤・パート
看護師	夜勤可能な方歓迎
薬剤師	常勤・パート
看護助手	パート
ケアマネジャー	パート
介護福祉士	パート
介護福祉士	常勤2019卒予定者可
ヘルパー	パート
診療放射線技師	常勤2019卒予定者可

ご連絡の上、履歴書をお送りください。
(連絡先)
 渋川市有馬237-1
 北毛保健生活協同組合
 総務部 鈴木まで
 TEL 0279-24-1234

「くらしと医療 新年号」

組合員作品募集

新春恒例となっています「くらしと医療新年号」の組合員作品コーナー（4面）を公募させていただきましたことになりました。みなさまの自信作をお待ちしております。

出展作品：絵画・写真・短歌・俳句・書道・絵手紙・制作物等

条件：北毛保健生活協同組合員（お一人様につき1点とさせていただきます）

申込期間：12月13日(木)までに事務局までお持ち下さい。

※応募多数の場合は、抽選とさせていただきます。

応募問い合わせ：北毛保健生協

事務局 TEL：24-2141

私も配っています

配布者さん紹介

榛東支部

西田 雍子さん

20年前に北毛病院にお世話になり、その2〜3か月後から配布を始めました。現在は約50件近く、何日か



に分けて配っています。大変ですが、配っている先の人と話をしていく中で班会をやりたいとの声にこたえて始まった班会や、積立増資につながったことや、やりがいにつながっています。今後もできる限り配っていきたくと思っています。

活動報告

▶クラフトかごづくり
第2弾



▲半田支部 芸能班会①



▲半田支部 芸能班会②



▲赤城支部 満呂木班会
ぐんぐん体操



▶半田支部 新堀班会
介護予防体操



▶北橋支部 合同班会
ペンダントづくり



▲子持支部 老人センター脳トレサロン



▲半田支部 食べ物班会
お好み焼きづくり



▶吉岡支部 体操班会
ダンベル



▶小野上支部 支部旅行
(ちひろ美術館)



▶豊秋支部 紅葉狩り
西浦班会



▶北橋支部 (清津峡) 支部旅行

うちのこ紹介します

我が家のペットを紹介します。犬種はチワワで御年9歳の熟女です。名前は鈴木家の鈴からベルと名付けました。性格は大変な内弁慶。家の中では跳んだり跳ねたり、大声で吠えたりと元気のいい子です。しかし一歩外に出ると、がらっとおとなしい良い子に変貌します。血統書で見ますと曾祖母の代から4代目、縁あって我が子、いや我が孫となりました。昔から「子は鎚」と言いますが、おかげさまでこの子が来てから老夫婦がより仲良く？楽しく暮らしています。今はもう私たち二人にとって無くてはならない大切な宝物となっている、そんなベルちゃんです。



八木原支部 鈴木 照男



10年ほど前に近所に野良犬がいました。最初はエサを投げる場所からだんだん距離を縮め、3か月後には手からエサを食べるほどの距離に。

野良犬なので保健所へ連れて行こうと思ったところ、妻が可哀想だからと、飼うことになりました。飼ってからしばらくして、驚いたのは実は「甲斐犬」だったこと。おそらく赤城山で猟犬をしているところで、なにかしらの理由で野良犬となったのでしょう。甲斐犬は、主人に忠実で一人の人に最後まで尽くすと言われており非常に忠実です。妻だけにですが。。それでも可愛いうちのこころちゃんです。

北橋支部 梅沢 芳夫